

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	茂木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	須藤地区まちづくり推進事業	総事業費	75,594	380,000	380,000	380,000	380,000	1,595,594
		うち市町支出額	75,594	380,000	380,000	380,000	380,000	1,595,594
		うち県交付金	37,797	190,000	190,000			417,797
2	ふるさとヒーロー応援事業	総事業費	604,514	600,000	600,000	600,000	600,000	3,004,514
		うち市町支出額	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	3,000,000
		うち県交付金	300,000	300,000	300,000			900,000
3	焼森山ミツマタ群生地を活用した地域振興事業	総事業費	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	3,000,000
		うち市町支出額	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	3,000,000
		うち県交付金	300,000	300,000	300,000			900,000
4	茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	総事業費	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち市町支出額	250,000	250,000	250,000			750,000
		うち県交付金	125,000	125,000	125,000			375,000
市町計	総事業費	1,780,108	2,080,000	2,080,000	2,080,000	2,080,000	10,100,108	
	うち市町支出額	1,525,594	1,830,000	1,830,000	1,580,000	1,580,000	8,345,594	
	うち県交付金	762,797	915,000	915,000	0	0	2,592,797	

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	須藤地区まちづくり推進事業
事業主体の名称	須藤地区まちづくり推進委員会
代表者の名称	会長 小森 紀男
事業主体の所在	茂木町大字茂木155
事業主体の概要	<p>・団体の目的:須藤地区の「長安寺」を会場に、地域の伝統行事として約20年に渡り開催されている「ふるさとコンサートin九石山」を主力事業に、地域の将来を担う子供たちの活躍の場や、地域住民が交流できる機会を設けることで、世代間交流の推進、地域全体の活性化を目的とする。</p> <p>・設立年月日:令和3年4月1日</p> <p>・構成員等:20名(須藤小学校保護者、地域住民、教員、町職員等)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「ツインリンクもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。</p> <p>・少子高齢化や地域全体の人口減少により、地区の伝統文化や行事を存続することが課題となっており、地域の子供たちがふるさとを温もりを感じながら、将来、ふるさとに戻ってきたいと思えるような地域教育、地域コミュニティの確立が必要である。</p> <p>・須藤地区は町内でも児童生徒数が少なく、中学校の統合等により、学校以外での子供達の活躍の場や、地域住民の交流・憩いの場の整備が求められている。</p>
事業目的	<p>・地域住民との交流や地域の文化や歴史に触れる機会を通して、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。</p> <p>・子供たちがメインの地域に根差した行事・交流を通し、世代間交流の推進、地域全体の活性化を目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>・ふるさとコンサートin九石山の実施 打ち合わせ会議 7~8月 ゲスト選定 8~9月 学校との打ち合わせ会議 8~9月 コンサートの開催 11月27日(土)</p> <p>・地域交流事業の開催の検討(コロナ禍でのイベント開催自粛)</p> <p>1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業</p> <p>少子高齢化が進む中、地域の子供たちや高齢者を中心とした世代間交流行事を通して、地域全体の活性化を推進することを目的としており、参加者は地域の子供たち、高齢者、学校、保護者を含む地域住民を想定している。</p> <p>また、ふるさとコンサートについては年々、町外からのお客様が増えており、リピーターの継続参加もより、新聞等への情報掲載や、FaceBookをはじめとしたSNSでの情報発信、さらには町ホームページ、観光協会の公式LINE、ゆずもメール等を上手に活用しながら、町外からの新規のお客様を増やすことにより、コンサートを切り口に本町を知っていただく人を増やしていき、茂木町のファン獲得を行っていきたい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる</p> <p>数値目標:今後も町に住み続けたい町民の割合 70%(令和6年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・ふるさとコンサートin九石山 ・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業	・ふるさとコンサートin九石山 ・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業	・ふるさとコンサートin九石山 ・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業		・ふるさとコンサートin九石山 ・地域交流事業の開催 1. 星とホテル鑑賞会 2. 特別養護老人ホーム「せんぼんの家」での交流事業 3. 小学校と連携した地域交流事業
事業費	75,594	380,000	380,000	835,594	380,000
市町支出金(ソフト事業分)	75,594	380,000	380,000	835,594	380,000
うち県交付金	37,797	190,000	190,000	417,797	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	須藤地区まちづくり推進事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	75,594	茂木町より変更理由:コロナ禍でのイベント開催自粛、規模縮小のため
計	75,594	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
謝金	60,000	60,000	30,000	0	・ふるさとコンサート演者 60,000 100,000 ・本邦鑑賞会講師や会場使用料等 50,000 ・せんぼんの家交流会演者 30,000 ・小学校交流会講話講師や寸劇演者 30,000
使用料	0	0	0	0	・ふるさとコンサート来客者送迎バス
消耗品費	15,594	15,594	7,797	0	・ふるさとコンサート消耗品 10,000 -※プログラム用紙代等 ・本邦鑑賞会 10,000 -※レクレーションお菓子代や景品 ・せんぼんの家交流会 20,000 -※盆踊り用の飾りや花火代 ・小学校交流会 20,000 -※ミニ運動会の用品や賞状代 ・ふるさとコンサート消耗品、参加児童記念品 15,594 ※道の駅もてぎアイス券等
				0	
計	75,594	75,594	37,797	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調書)

市町名 **茂木町**

事業名 **ふるさとヒーロー応援事業**

事業主体の名称 **茂木町スポーツ協会**

代表者の名称 **会長 横堀 慶幸**

事業主体の所在 **茂木町大字小井戸2664-1**

事業主体の概要
 ・団体の目的:茂木町内における体育運動を振興し、町民の体力向上を図り、明朗で健康な精神を養うことで体育団体の育成を図ることを目的とする。
 ・設立年月日:昭和58年4月1日
 ・構成員等:26名(町内スポーツ団体代表者等)

当該事業に係る地域の現状と課題
 ・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「ツインリンクもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。
 ・そんな中、本町出身の森俊貴選手が栃木SCに加入したことに伴い、サッカーを通じて地域スポーツの振興などを図るため、令和3年4月8日に「地域支援パートナーシップ協定」を締結した。
 ・地元出身のスターが地元のチームに所属している今、子どもたちの郷土愛の醸成を行い人口流出を抑え地域コミュニティを維持していくために、スポーツを起爆剤とした振興施策を講じる必要がある。

事業目的
 ・スポーツを起点としたイベント行い、観光客誘致と関係人口の創出を図る。
 ・試合前後にスタジアム内のオーロラビジョンで茂木町のPR動画を放映したり、来場者全員を対象とし地元特産品が当たる抽選会を実施することにより、本町への来町のきっかけをつくる。
 ・地元出身のスターと共に事業を行うことにより、子どもたちのスポーツへの関心を高め、郷土愛の醸成を図る。

事業概要
【令和3年度】
 <栃木SC茂木町民デーの開催>
 開催予定:7月17日(土)午後6時キックオフ VSヴォンファーレ甲府
 開催場所:栃木県グリーンスタジアム(宇都宮市清原工業団地内)
 内容:7月17日(土)栃木S.C.VSヴォンファーレ甲府を茂木町民デーとし、会場での楽しみプレゼント会を通じた茂木町のPR及び町民の無料招待を行った。
 ・無料チケット対象:茂木町在住・在学 500名
 ・抽選会:イベントエリアにて、サッカー観戦に来た約1,000名の町外者に、茂木町産のバームクーヘンや柚子塩だれなど特産品等が当たる「楽しみプレゼント会」を実施した。
 ・特産品販売:茂木町特産品の販売
 ・町PR:ピッチでの町長あいさつ及び町マスコットキャラクター「ゆずも」によるPRを行った。
 サッカー観戦に訪れる約5,000人の町外の観戦者に対し、オーロラビジョンによる町PRCMを放送し、茂木町の良さを映像で感じてもらう。
 また、会場で「ふるさと納税チラシ」と「道の駅もてぎふるさとギフトカタログ」を配布し、茂木町に関心を持ってもらい関係人口の増加を図る。
【令和4年度】
 ・スポーツを通じた更なる郷土愛の醸成に繋がるイベント検討する。
【令和5年度】
 ・スポーツを通じた更なる郷土愛の醸成に繋がるイベント検討する。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI
 基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる
 数値目標:観光入込客数(H30)3,175,472人/年 →(R6)3,500,000人/年
 基本目標:安心して移住・定住のできる「まち」をつくる
 数値目標:関係人口数(H30)2,256/年 →(R6)3,250人/年

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	栃木SC茂木町民デーの開催	栃木SC茂木町民デーの開催	栃木SC茂木町民デーの開催		栃木SC茂木町民デーの開催
事業費	604,514	600,000	600,000	1,804,514	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	600,000	600,000	600,000	1,800,000	600,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	900,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,514	0	0	4,514	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ふるさとヒーロー応援事業事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	600,000	茂木町より
自主財源	4,514	
計	604,514	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	341,860	341,860	170,930	0	・お楽しみプレゼント会賞品(茂木町特産品等)313,810円 ・来場者用ノベルティ(バッジ)28,050円
消耗品費	205,954	205,954	102,977	0	・のぼり旗92,400円 ・のぼり旗竿8,800円 ・のぼり旗台33,264円 ・スタッフ用帽子14,960円 ・スタッフ用ポロシャツ54,450円 ・パウチフィルム2,080円
使用料	42,350	40,586	20,293	1,764	・テント19,800円 ・三方幕4,400円 ・机9,680円 ・椅子2,970円 ・テント錘5,500円
保険料	11,600	11,600	5,800	0	参加者保険料 11,600円
役務費	2,750	0	0	2,750	振込手数料2,750円
				0	
				0	
				0	
				0	
計	604,514	600,000	300,000	4,514	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調書)

市町名

茂木町

事業名

焼森山ミツマタ群生地を活用した地域振興事業

事業主体の名称

焼森山ミツマタ保全協議会

代表者の名称

会長 谷中裕一

事業主体の所在

茂木町大字茂木155

事業主体の概要

・団体の目的
茂木町南部に位置する焼森山周辺に群生するミツマタ等の生育保全・整備事業を通じて、里山林の素晴らしさを継承するとともに、新しい茂木町の観光資源として活用できることを目的とする。
・設立年月日:平成28年12月21日
・構成員等:16名

当該事業に係る地域の現状と課題

・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「モビリティリゾートもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。
・茂木町南部の旧逆川村の焼森山周辺に群生する「ミツマタ」は、戦時中に紙不足を危惧した地域住民により植栽されたものだが、戦後忘れ去られ、平成17年の町有林間伐の際に発見された。その後、間伐による採光でミツマタの生息環境が好転し見事な群生地となったことから、これを新たな地域資源として観光誘客につなげるため、地域住民らが遊歩道整備やシーズン時の案内等を実施しているが、近年観光客の急増により、シャトルバスや巡視員の手配、駐車場や遊歩道の整備が必須となっている。
・観光客のリピーターを確保し、逆川地区の振興を図るため、シャトルバス運行や簡易トイレの整備など受入態勢強化の必要がある。

事業目的

・ミツマタ群生における観光客の受け入れ態勢を強化し、リピーター確保に繋げる。
・地元観光資源を利用した地域振興によって、地元コミュニティカの醸成を図る。

事業概要

【令和3年度】
 <全体会> 1月12日(水)、1月26日(水)、3月3日(木)
 <オープン準備会> 2月15日(火)
 <安全祈願祭> 3月6日(土)開催
 <オープン準備> 3月上旬
 ・遊歩道・駐車場整備
 ・案内看板設置
 <ミツマタ群生地オープン> 3月12日(土)から3月31日(木)まで(本交付金対象事業)
 ・シャトルバス運行
 ・ミツマタ鑑賞ツアー開催
 ・ミツマタ群生地巡視・管理
 ○入込客数 8,565人
 【令和4年度】
 ・整備等を継続し、更なる誘客に努める。
 【令和5年度】
 ・整備等を継続し、更なる誘客に努める。
 3月中旬から4月上旬にかけてミツマタ群生地に訪れる現在11,000人のお客様にさらに増やすため、モデルルートを紹介する動画をSNSで配信するほか、周遊ルート案内折り込みチラシ配布(茨城県方面)、NaviTabiアプリによる周遊ルート設置(ロケイニング)を行うなど近隣の観光コンテンツに誘導し、地域経済の底上げを行った。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

基本目標:安心して暮らし続けることのできる「まち」をつくる
 数値目標:観光入込客数(R2)2,220,000人/年 →(R6)3,500,000人/年
 数値目標:ミツマタ群生地入場者数(R2)11,652人/年 →(R6)17,000人/年

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	焼森山ミツマタ群生地 を活用した地域振興事 業	焼森山ミツマタ群生地 を活用した地域振興事 業	焼森山ミツマタ群生地 を活用した地域振興事 業		焼森山ミツマタ群生地 を活用した地域振興事 業
事業費	665,698	600,000	600,000	1,865,698	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	600,000	600,000	600,000	1,800,000	600,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	900,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	65,698	0	0	65,698	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	焼森山ミツマタ群生地を利用した地域振興事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	茂木町より
自主財源	65,698	
計	665,698	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	87,248	87,248	43,624	0	焼森山整備消耗品 仮設トイレ設置用品 等
印刷製本費	74,250	74,250	37,125	0	パスチケット印刷代
使用料	176,000	176,000	88,000	0	仮設トイレ使用料 × 5基
手数料	0	0	0	0	汲み取り手数料—48,000.—
委託料	328,200	262,502	131,251	65,698	トイレ清掃費 群生地遊歩道整備費
				0	
				0	
計	665,698	600,000	300,000	65,698	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	茂木町
事業名	茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業
事業主体の名称	NPO法人みんなのカタチ
代表者の名称	栗田しのぶ
事業主体の所在	茂木町大字北高岡44
事業主体の概要	<p>・団体の目的:広く一般に対して、自然体験等を通じた体験教育活動に関する事業を行い、自然の中でのびのびと自己肯定感を高めることがひとの「こころ」と「からだ」の成長に必要であると広く伝えていくことを目的とする。</p> <p>・設立年月日:令和3年4月12日</p> <p>・構成員等:10名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・茂木町は、清流那珂川や世界的サーキット場「ツインリンクもてぎ」等、観光資源に恵まれているが、近年人口減少・高齢化が深刻になっており、特に若い世代の町外への転出が抑えられず、地域コミュニティの維持が困難になっている。</p> <p>・茂木町の最大の魅力のひとつである豊かな自然を、子ども達とその保護者が、安全・安心に体感し、郷土愛を育むことができる場所の提供が必要である。</p>
事業目的	<p>・茂木の自然を活用した自然体験活動を通して、子育て支援(野外保育)を実施することで、子ども達と保護者の郷土愛醸成を図る。</p> <p>・茂木町の環境や産業及び野外教育活動への興味が高まるような体験活動の企画を実施することで地域の魅力を発信し、関係人口の創出を図る。</p>
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <p>①<18歳未満の子ども及びその保護者対象とした野外保育・教育活動></p> <p>1. 野外保育活動(森のようちえんあいうえお)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上の幼児のための「あいうえお」:毎週火曜日から金曜日(9:30~14:00) ・0歳から3歳未満の幼児のための「かきくけこ」:毎週金曜日または木曜日(10:00~14:00) ・少人数保育(園児15名に対して保育者2~3名) <p>・活動の拠点である広場から出発して山登りや川遊び、近くの農家の畑仕事のお手伝い、広場で大工仕事をして秘密基地づくりなど、活動の内容は、子どもたちのアイデア次第。野外活動における危機管理能力・しなやかな体の育成を図る。</p> <p>2. 親子広場(やつほう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔週の月曜日 10:00~13:00 ・預かり保育ではなく、親子で一緒に自然の中で過ごしたい人のための活動。 ・焚き火と羽釜で炊いたご飯や持ち寄りのおかずなどでお昼ご飯をとる、パンケーキやサンドイッチをみんなで作る、季節の遊びをするなど、ゆったりと自然に身を任せ、穏やかな自由を大人も子どもも享受できる時間を共有する。 ・大人1人での参加や、小学生の参加も受け付ける。 <p>3. 小学生への野外教育活動(はらっぱ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日 9:30~14:30 ・学校に対していろいろな想いを抱えている子どもたちの居場所をつくるための活動。 ・自然の中で、ゆっくり自己実現や思いにふける時間を過ごす。 ・1日どう過ごすかは子ども達が決め、大人は最低限の手助けをする。 <p>上記事業の展開によって、茂木町の豊かな自然の中での子育てに魅力を感じた移住者を呼び込んだ実績がある。上記事業を「JOIN」等の移住定住ポータルサイトや、FaceBookをはじめとしたSNSを通じて情報発信することにより、茂木町のファンを獲得し、更なる関係人口の創出を図った。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂木の自然を活用した更なる郷土愛醸成に繋がる事業を検討する。 <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂木の自然を活用した更なる郷土愛醸成に繋がる事業を検討する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:安心して移住・定住のできる「まち」をつくる</p> <p>数値目標:関係人口数(H30)2,256/年 →(R6)3,250人/年</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業		・茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業
事業費	500,072	500,000	500,000	1,500,072	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	250,000	250,000	250,000	750,000	
うち県交付金	125,000	125,000	125,000	375,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	250,072	250,000	250,000	750,072	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課企画係
担当者名	松崎健二
電話	0285-63-5619
FAX	0285-63-0459
E-mail	kikaku@town.motegi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	茂木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	茂木の自然を活用した子育て支援・郷土愛醸成事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	250,000	茂木町より
自主財源	250,072	
計	500,072	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	436,500	218,250	109,125	218,250	事業①の活動に際し、保育スタッフを補助する運営サポーターへの謝金 ※一か月に10-15回程度稼働を依頼している ※1回の活動時間:5-6時間 ※金額: 野外活動や保育のスキルによって、1日1000円-3000円 運営サポーター:保育士や看護師などの資格を有したり、野外保育に関する専門的知識・経験を有する方が対象
消耗品費	63,572	31,750	15,875	31,822	・保育活動用品・野外活動用品一式 ワンタッチテント、梅ジュース用びん、カセットボンベ、マッチ、殺虫剤、グリーンシート、中性洗剤、せんたく糊、ハエタタキ、花火、ウォーターバルーン、計量カップ、アルミ針金、丸ゴム、ビニールテープ、ゼムクリップ、虫よけキャンドル、乾電池、野外調理材料、さらし、メスティン、雨どい用具、キッチンタオル、ティッシュペーパー、こめ油、ポリ袋、木材、おりがみ、ゴミ袋、シャボン玉用具、木工用ボンド、パーティーバルーン ※全て事業①の経費
備品購入費	0	0	0	0	・テーブルや焚き火台などの備品
印刷製本費	0	0	0	0	・アルバム印刷代 記念品として
計	500,072	250,000	125,000	250,072	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合